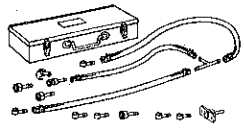
7．フユーエル　ポンプ

変更概要

ＥＦＩ仕様車にタンク内蔵式フユーエル　ポンプが採用されました。

1　フユーエル　ポンプ　＆　プレツシヤ　レギユレータ点検

〔準備品〕

ＳＳＴ	 09268−41045 ツール セツト，インジエクシヨン メジヤーリング	燃圧点検用
計　器	 ㈱バンザイ扱い ＴＢ−705 ゲージ，EFI　フユーエル　プレツシヤ	燃圧点検用

フユーエル　ポンプ作動点検

イグニツシヨン　スイツチ　ＯＮ

1　エンジン停止状態で，イグニツシヨン　スイツチをＯＮにする。

フユーエル　ポンプ作動

1　短絡用端子を短絡し，フユーエル　ポンプを作動させる。

ポンプの作動音確認

参考

フユーエル　ポンプがタンク内蔵式のため作動音が聞きとりにくいのでフユーエル　タンク　キヤツプをはずし注入口から確認する。

燃圧の確認

1　フユーエル　リターン　ホースを指先でつまむと燃圧が感じられること。

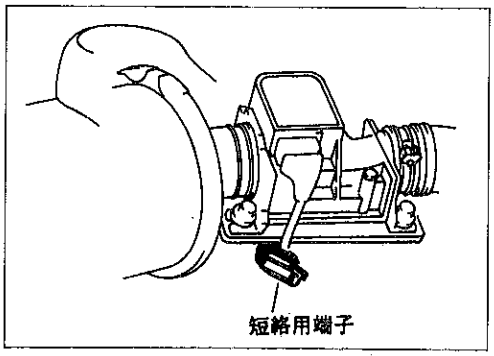


図7-1-1　短絡用端子　B6241

無断複製禁止

燃圧点検

フユーエル　ポンプ電源切り離し

1　ラツゲージ　ルーム内のサービスホール　カバーを取りはずして行なう。

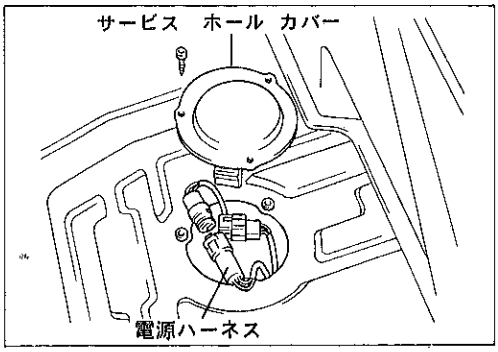


図7-1-2　電源ハーネス切り離し　B 3853

エンジン始動

イグニツシヨン　スイツチ　OFF

1　エンジンが停止するのを待ち，イグニツシヨン　スイツチをOFFにする。

バツテリ⊖ターミナルおよびコネクタ切り離し

1　コールド　スタート　インジエクタのコネクタを切り離す。

燃圧計取り付け

1　コールド　スタート　インジエクタ↔デリバリ　パイプ間のフユーエル　パイプ（ホース）を取りはずし，デリバリ　パイプに燃圧計を接続する。

SST〔09268-41045〕

燃圧測定

1　フユーエル　ポンプの電源ハーネスおよびバツテリ⊖ターミナルを接続する。

2　エンジンを始動し，プレツシヤ　レギユレータのバキユーム　ホースをはずしてふさぎ，アイドル回転時の燃圧を測定する。

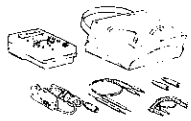
基準値　2.5～2.7kg/cm²

3　プレツシヤ　レギユレータにバキユーム　ホースを接続したときの燃圧が約2.0kg／cm^2であることを確認する。

無断複製禁止

2 フユーエル　ポンプ脱着

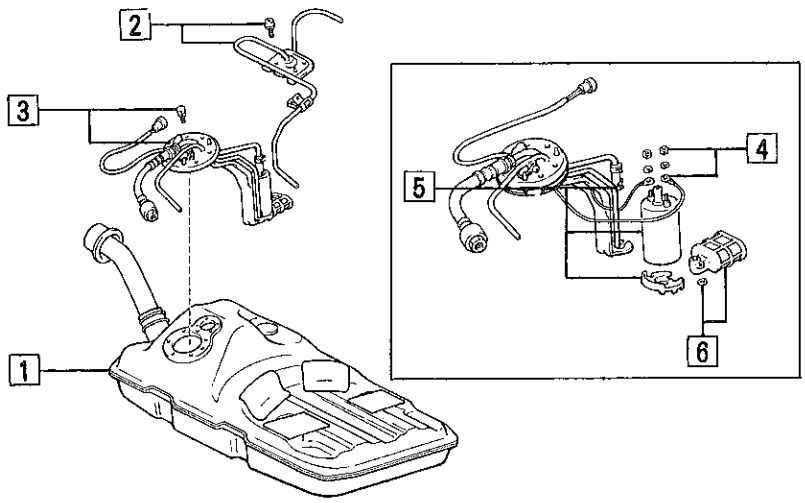
〔準備品〕

計　器	 09082−00011 トヨタ　エレクトリカル　テスタ	フユーエル　ポンプ点検用
油　脂 その他	容器，ポリ　タンク	燃料保管用

〔再使用不可部品〕

クリップ　(23229　FIG. 22−11)　ガスケット，フユーエル　タンク　(77100B　FIG. 77−01)

フユーエル　ポンプ脱着



作業手順

1 タンク　ASSY，フユーエル
2 スクリュ（4本）
●チューブ　サブ　ASSY，ブリーザ
3 スクリュ（7本）
●ポンプ　ASSY，フユーエル　ウイズ　モータ　&　ブラケット
4 ナット（2個）
●ワイヤ　サブ　ASSY，リード（2本）
5 クリップ
●ホース，フユーエル
●ラバー，クッション
●ポンプ　ASSY，フユーエル　ウイズ　フイルタ　サブ　ASSY
6 クリップ
●フイルタ　サブ　ASSY，フユーエル　サクション　チューブ
推 フユーエル　ポンプ点検　(要点1)

図7-2-1　フユーエル　ポンプ脱着　B 3854

無断複製禁止

要　点

1　フユーエル　ポンプ点検

⑴作動点検

①端子にテスト用の配線でバツテリ電圧をかけて作動を点検する。

注意

1　ポンプはバツテリからできるだけ離す。

2　スイツチング作用は必ずバツテリ側で行ない，長時間行なわない。（10秒以内）

⑵抵抗測定

①端子間の抵抗を測定する。

基準値　0.2～3.0 Ω

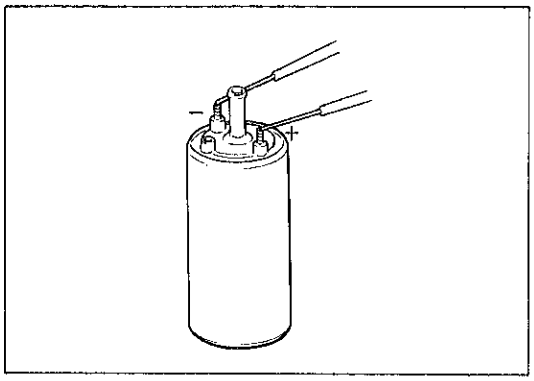


図7-2-2　フユーエル　ポンプ点検　　B 3855

無断複製禁止